

遠隔による医療・調剤処方のある方についての研究

～オンライン診療の普及について～

シミュレーション学研究科 シミュレーション学専攻

◎M2 あおのたけひろ 青野 起大、教授 きむらしん 木村 真

キーワード

遠隔医療、オンライン診療

研究概要

近年、情報通信技術の進歩により、オンライン診療が推進されており、疾病の予防や不必要な入院を減らすことで医療費の削減が見込まれる。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、オンラインでの対応が早急に求められている。そこで、兵庫県の医療機関に関してオンライン診療の普及率の分析を行い、普及に向けた課題と改善策を研究する。本研究では、オンライン診療に関して統計ファイルのデータ分析を行い、普及に影響を与える要因を明らかにする。処理段階では、兵庫県の医療機関に関するデータやオンライン診療に対応する兵庫県の医療機関のデータ、国勢調査、病院の経営データなど、様々なデータをマッチングするなど、分析できる形に変換した。分析段階では、処理したデータを可視化した。兵庫県の医療機関のうち、どれくらいの医療機関がオンライン診療に対応するのか、もしくは、内科のある医療機関のうち、どれくらいの医療機関がオンライン診療に対応するのかなど、現段階のオンライン診療の普及状況を明らかにした。また、病院の経営状態（医師数、病床数、資本金など）がオンライン診療に影響を及ぼすのかなど、オンライン診療の普及要因も明らかにする予定である。以上、データの分析を行い、オンライン診療の普及に向けた考察を行う。結果の詳細は、当日発表する。

アピールポイント

オンライン診療について、厚生労働省等も調査を行っている。県ごとのオンライン診療の普及率や疾患・症候で分けたときのオンライン診療の件数などを報告しているが、医療機関の診療科目によるオンライン診療の普及率、病院の経営状態（医師数、病床数、資本金）を踏まえた分析は行っていない。本研究の成果は、今後、オンライン診療に関する診療報酬の設定などにおいて、診療科間の差異を考える際の基礎資料となることが期待される。他、オンライン診療に対応する医療機関の傾向を把握することができる。また、本研究成果は、国公立大学振興議員連盟、第19回総会の中の新型コロナウイルス関連研究成果の一つとして、用いられている。